

■希少野生動植物保護の関連法令等

種(平成 31年3月現在)		希少野生動植物保護の関連法令等	
種の保存法	希少野生動植物保護条例 〔県〕	希少野生動植物保護条例 〔市町村〕	
国内希少種 (293種)	県指定希少野生動植物 (39種)	奄美大島5市町村 指定希少野生動植物 (56種)	鳥 獣 保 護 管 理 法
うち奄美関係分 (24種)	うち奄美関係分 (23種)	徳之島3町 指定希少野生動植物 (31種)	
	県特定希少野生動植物 (指定なし)		県 ウ ミ ガ メ 保 護 条 例
			文 化 財 保 護 法

■「鹿児島県希少野生動植物の保護に関する条例」で、捕獲・採取等が禁止されている種 (39種のうち奄美群島に生息・生育する23種)

■(動物) 8種 (平成 31年3月現在)

分類	種名(和名)	種名(学名)	科名	県カテゴリー
魚 類	リュウキュウアユ	<i>Plecoglossus altivelis ryukyuensis</i>	アユ科	絶滅危惧Ⅰ類
魚 類	タナゴモドキ	<i>Hypseleotris cyprinoides</i>	カワアナゴ科	絶滅危惧Ⅰ類
魚 類	タメトモハゼ	<i>Ophieleotris sp.</i>	カワアナゴ科	絶滅危惧Ⅰ類
魚 類	キバラヨシノボリ	<i>Rhinogobius sp.</i>	ハゼ科	絶滅危惧Ⅱ類
貝 類	シマカノコ	<i>Neritina turrita</i>	アマオブネガイ科	絶滅危惧Ⅱ類
貝 類	ムラクモカノコガイ	<i>Neritina variegata</i>	アマオブネガイ科	絶滅危惧Ⅰ類
貝 類	ヤエヤマヒルギシジミ	<i>Geloina reosa</i>	シジミ科	絶滅危惧Ⅰ類
甲殻類	サキシマヌマエビ	<i>Caridina sakishimensis</i>	ヌマエビ科	絶滅危惧Ⅱ類

■(植物) 15種 (平成 31年3月現在)

分類	種名(和名)	種名(学名)	科名	県カテゴリー
植 物	ミヤビカンアオイ	<i>Heterotropa celsa</i>	ウマノスズクサ科	絶滅危惧Ⅰ類
植 物	ハツシマカンアオイ	<i>Heterotropa hatsushimae</i>	ウマノスズクサ科	絶滅危惧Ⅱ類
植 物	アマミアセビ	<i>Pieris amamioshimensis</i>	ツツジ科	絶滅危惧Ⅰ類
植 物	アマミセイシカ	<i>Rhododendron amamiense</i>	ツツジ科	絶滅危惧Ⅰ類
植 物	テンノウメ	<i>Osteomeles anthyllifolia</i>	バラ科	絶滅危惧Ⅱ類
植 物	ウケユリ	<i>Lilium alexandrae</i>	ユリ科	絶滅危惧Ⅰ類
植 物	ウスクスラン	<i>Bulbophyllum affine</i>	ラン科	絶滅危惧Ⅰ類
植 物	シコウラン	<i>Bulbophyllum macrae</i>	ラン科	絶滅危惧Ⅰ類
植 物	アマミエビネ	<i>Calanthe aristulifera var. amamiana</i>	ラン科	絶滅危惧Ⅰ類
植 物	レンギョウエビネ	<i>Calanthe lyroglossa</i>	ラン科	絶滅危惧Ⅰ類
植 物	オナガエビネ	<i>Calanthe masuca</i>	ラン科	絶滅危惧Ⅰ類
植 物	カンラン	<i>Cymbidium kanran</i>	ラン科	絶滅危惧Ⅰ類
植 物	フウラン	<i>Neofinetia falcata</i>	ラン科	絶滅危惧Ⅰ類
植 物	カクチョウラン	<i>Phaius tancarvilleae</i>	ラン科	絶滅危惧Ⅰ類
植 物	ナゴラン	<i>Sedirea japonica</i>	ラン科	絶滅危惧Ⅰ類

■「種の保存法」(絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律)で、捕獲・採取等が禁止されている種 (奄美群島に生息・生育する24種)

分類	種名(和名)	科名
哺乳類	アマミノクロウサギ	ウサギ科
哺乳類	ケナガネズミ	ネズミ科
哺乳類	アマミトゲネズミ	ネズミ科
哺乳類	トクノシマトゲネズミ	ネズミ科
哺乳類	リュウキュウテンクウモリ	ヒナコウモリ科
哺乳類	ヤンバルホオビゲコウモリ	ヒナコウモリ科
鳥 類	アマミヤマシギ	シギ科
鳥 類	オーストンオオアカゲラ	キツツキ科
鳥 類	アカヒゲ	ツグミ科
鳥 類	オオトラツグミ	ヒタキ科
爬虫類	オビトカゲモドキ	トカゲモドキ科
両生類	イボイモリ	イモリ科
両生類	アマミシカワガエル	アカガエル科
両生類	オツトンガエル	アカガエル科
昆虫類	フチトリゲンゴロウ	ゲンゴロウ科
昆虫類	ウケジママルハネクワガタ	クワガタムシ科
昆虫類	ハネナガチョウトンボ	トンボ科
植 物	アマミデンダ	オシダ科
植 物	ヤドリコケモモ	ツツジ科
植 物	コゴメキノエラン	ラン科
植 物	ウスイロホウビシダ	チャセンシダ科
植 物	コモチナナバケシダ	ナナバケシダ科
植 物	トクノシマテンナンショウ	サトイモ科
植 物	タイワンアマクサシダ	イノモトソウ科

■奄美大島5市町村及び徳之島3町の希少野生動植物の保護に関する条例で、捕獲・採取等が禁止されている種 (奄美大島5市町村指定 56種、徳之島3町指定 31種)

分類	種名(和名)	科名	奄美大島 5市町村	徳之島 3町
両生類	アマミハナサキガエル	アカガエル科	○	
魚 類	ヨロイボウズハゼ	ハゼ科	○	
魚 類	ルリボウズハゼ	ハゼ科	○	
昆虫類	アマミキンモンアオタマムシ	タマムシ科	○	
昆虫類	ヒメフチトリゲンゴロウ	ゲンゴロウ科	○	○
昆虫類	フェリエペニボシカミキリ	カミキリムシ科	○	
昆虫類	ヨツオビハレギカミキリ	カミキリムシ科	○	
昆虫類	アマミマルハネクワガタ	クワガタムシ科	○	○
昆虫類	アマミシカワガタ	クワガタムシ科	○	○
昆虫類	アマミヤマクワガタ	クワガタムシ科	○	
昆虫類	ヤマトサビクワガタ	クワガタムシ科	○	○
昆虫類	マルダイコクコガネ	コガネムシ科	○	○
昆虫類	ハネナガチョウトンボ	トンボ科	○	
昆虫類	アマミナゴゴムシ	オサムシ科	○	
貝 類	ネニヤダマシゲル	カセルガイ科	○	
貝 類	ミドリシヤミセンガイ	シヤミセンガイ科	○	
甲殻類	オカヤドカリ	オカヤドカリ科	○	
甲殻類	ムラサキオカヤドカリ	オカヤドカリ科	○	
甲殻類	ナキオカヤドカリ	オカヤドカリ科	○	
甲殻類	リュウキュウシオマネキ	スナガニ科	○	
甲殻類	ヤエヤマシオマネキ	スナガニ科	○	
甲殻類	ルリマダラシオマネキ	スナガニ科	○	
植 物	サガリラン	ラン科	○	
植 物	ケイダオフウラン	ラン科	○	
植 物	キバナノセッコク	ラン科	○	
植 物	ヒメシラヒゲラン	ラン科	○	
植 物	ダイサギソウ	ラン科	○	○
植 物	タイワンシヨウキラン	ラン科	○	○
植 物	ヤクシマネツタイラン	ラン科	○	○
植 物	ナギラン	ラン科	○	○
植 物	チケイラン	ラン科	○	○
植 物	ヒメトケラン	ラン科	○	○
植 物	アコウネツタイラン	ラン科	○	○
植 物	オオナギラン	ラン科	○	○
植 物	トクノシマエビネ	ラン科	○	○

■文化財保護法及び県の同条例で保護されている国・県指定天然記念物 (奄美群島に生息・生育する14種)

分類	種名(和名)	科名
哺乳類	アマミノクロウサギ	ウサギ科
哺乳類	ケナガネズミ	ネズミ科
哺乳類	トゲネズミ	ネズミ科
鳥 類	オーストンオオアカゲラ	キツツキ科
鳥 類	アカヒゲ	ツグミ科
鳥 類	オオトラツグミ	ヒタキ科
爬虫類	オビトカゲモドキ	トカゲモドキ科
両生類	イボイモリ	イモリ科
両生類	アマミシカワガエル	アカガエル科
両生類	オツトンガエル	アカガエル科
昆虫類	フチトリゲンゴロウ	ゲンゴロウ科
昆虫類	ウケジママルハネクワガタ	クワガタムシ科
昆虫類	ハネナガチョウトンボ	トンボ科
植 物	アマミデンダ	オシダ科
植 物	ヤドリコケモモ	ツツジ科
植 物	コゴメキノエラン	ラン科
植 物	ウスイロホウビシダ	チャセンシダ科
植 物	コモチナナバケシダ	ナナバケシダ科
植 物	トクノシマテンナンショウ	サトイモ科
植 物	タイワンアマクサシダ	イノモトソウ科

(注)アマミノクロウサギは、国指定特別天然記念物
(注)トゲネズミは、平成18年アマミトゲネズミ、オキナフトゲネズミ、トクノシマトゲネズミの3種にわけられましたが、天然記念物では全種を含めて指定しています。

■県指定天然記念物 (平成 31年3月現在)

分類	種名(和名)	科名
爬虫類	オビトカゲモドキ	トカゲモドキ科
両生類	イボイモリ	イモリ科
両生類	アマミシカワガエル	アカガエル科
両生類	オツトンガエル	アカガエル科

■奄美大島5市町村及び徳之島3町の希少野生動植物の保護に関する条例で、捕獲・採取等が禁止されている種 (平成 31年3月現在)

分類	種名(和名)	科名	奄美大島 5市町村	徳之島 3町
植 物	トクノシマカンアオイ	ラン科		○
植 物	ナンバンキンギンソウ	ラン科		○
植 物	トリガミネカンアオイ	ウマノスズクサ科	○	
植 物	グスクカンアオイ	ウマノスズクサ科	○	
植 物	カケマカンアオイ	ウマノスズクサ科	○	
植 物	フジノカンアオイ	ウマノスズクサ科	○	
植 物	オオバカンアオイ	ウマノスズクサ科	○	○
植 物	ナゼカンアオイ	ウマノスズクサ科	○	
植 物	アサカンアオイ	ウマノスズクサ科	○	
植 物	タムラカンアオイ	ウマノスズクサ科	○	○
植 物	リュウキュウヒモラン	ヒカゲ/カズラ科	○	○
植 物	ヨウラクヒバ	ヒカゲ/カズラ科	○	
植 物	リュウキュウスズカケ	ゴマノハグサ科	○	
植 物	ハマトラノオ	ゴマノハグサ科	○	
植 物	アマミアオネカズラ	ウラボシ科	○	○
植 物	アマミウチウ	イワウメ科	○	
植 物	アマミテンナンショウ	サトイモ科	○	○
植 物	オオアマミテンナンショウ	サトイモ科	○	○
植 物	トクノシマテンナンショウ	サトイモ科	○	○
植 物	ハジマンチヨウ	ハジマンチヨウ科	○	
植 物	モダマ	マメ科	○	
植 物	アマミクサアジサイ	ユキノシタ科	○	
植 物	アマミスミレ	スミレ科	○	
植 物	コショウジョウバカマ	ユリ科	○	○
植 物	オキシロショウジョウバカマ	ユリ科	○	○
植 物	アマミアゴベ	アカネ科	○	
植 物	ヒメヤマコナズビ	サクラソウ科	○	
植 物	アマミカタバミ	カタバミ科	○	
植 物	アツタ	ツルキジノオ科	○	○
植 物	アマミナツトウダイ	トウダイグサ科	○	
植 物	アマミマツバボタン	スベリヒユ科	○	
植 物	コモチナナバケシダ	ナナバケシダ科	○	○
植 物	タイワンアマクサシダ	イノモトソウ科	○	
植 物	ヒメスイカズラ	スイカズラ科	○	○
植 物	ホウザンツツラフジ	ツツラフジ科	○	
計			56	31

編集・発行 / 鹿児島県環境林務部自然保護課 〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号 電話 099-286-2616(直通)
写真協力 / 高美喜男・大工園謙・浜田大・山下弘・佐藤寛之・常田守・大坪博文・横田昌嗣・中村正弘・船越公敏・環境省
発行日 / 平成31年3月

鹿児島県の希少野生動植物の詳細について、以下のホームページで御覧いただけます。
<http://www.pref.kagoshima.jp/ad04/kurashi-kankyo/kankyo/yasai/zyorei/03007006.html>

希少野生動植物は 県民みんなの宝です

～希少野生動植物の保護に対する皆さんの御理解と御協力をお願いします～

絶滅の危機から守ろう！

奄美群島版



鹿児島県

希少な野生動植物を保護するために……

野生動植物は、人類生存の基盤である生態系の基本的構成要素であり、私たち県民の豊かな生活に欠かすことのできない役割を果たしています。

私たちは、これらの野生動植物を県民共有の財産として次の世代に引き継いでいかなければなりません。しかしながら、県内では生息・生育環境の悪化や乱獲等により多くの希少野生動植物が絶滅の危機に瀕しています。「鹿児島県の絶滅のおそれのある野生動植物(鹿児島県レッドデータブック2016)」では、県内には絶滅のおそれのある希少野生動植物が約1,400種あることが明らかになっています。

このため、県では県内に生息・生育する希少野生動植物を保護することにより、生物多様性の確保を推進し、現在及び将来の県民の健康で文化的な生活を確保することを目的として、平成15年3月に「鹿児島県希少野生動植物の保護に関する条例」を制定し、平成15年12月から施行しています。

この条例では、希少野生動植物の中でも特に保護を図る必要があるもの(乱獲等により、その存続に支障を来すおそれがあるもの等)を「指定希少野生動植物」に指定して、保護を図っています。

また、この条例のほか、「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(種の保存法)」や「鹿児島県ウミガメ保護条例」等により、県内の希少野生動植物が保護されています。

県内に生息・生育する希少野生動植物の保護に対する県民の皆さんの御理解と御協力をお願いします。

「鹿児島県希少野生動植物の保護に関する条例」では、県内に生息・生育する希少野生動植物を保護するため、次のような事項を定めています。

- 1 希少野生動植物の保護に努め、良好な自然環境をみんなで保全しましょう。
- 2 指定希少野生動植物の生きている個体を捕獲、採取することや、違法に捕獲、採取されたものの譲渡、所持等はできません。
(学術研究などの目的の場合には、捕獲等ができる場合もありますが、あらかじめ知事の許可を受ける必要があります。)
※指定希少野生動植物…希少野生動植物のうち、特に保護を図る必要があるものとして、知事が指定したもの(別表及び写真参照)
- 3 特定希少野生動植物の譲渡しの業務を伴う事業(特定事業)を行う場合については、知事への届出が必要となります。
(平成31年3月現在指定なし。)
※特定希少野生動植物…指定希少野生動植物のうち、商業的にその個体の繁殖をさせることができるものであって、知事が指定したもの
- 4 生息地等保護区の区域内においては、工作物の建築、宅地の造成などの行為を行う場合には、許可や届出が必要となります。
(平成31年3月現在指定なし。)
※生息地等保護区…指定希少野生動植物の個体の生息地又は生育地及びこれらと一体的にその保護を図る必要がある区域として指定されたもの
- 5 条例の規定に違反して、指定希少野生動植物の捕獲、採取等を行うなどの違法行為を行った場合は、罰則が科されることとなります。
(最高で1年以下の懲役又は50万円以下の罰金)
- 6 希少野生動植物の保護や普及啓発などを図るため、県内各地に希少野生動植物保護推進員を設置しています。

I.奄美群島に生息・生育する 国希動植物

タメトモハゼ 県希 カワアナゴ科



生息地
種子島、屋久島、奄美大島、徳之島

主な特徴
成魚は250mmほど、体中央に暗色縦列斑があり、体上部に赤色や黄色の斑点が散在する。

ムラクモカノコガイ 県希 アマオブネガイ科



生息地
奄美大島

主な特徴
成貝で殻長15～25mm。殻表は平滑で螺旋はやや高まる。色彩は変化に富むが、細かい縞模様が多い。

凡例

鹿児島県希少野生動物の保護に関する条例

県希 県指定希少野生動物種

種の保存法

国希 国内希少野生動物種

文化財保護法・条例

国特天 国指定特別天然記念物

国天 国指定天然記念物

県天 県指定天然記念物

リュウキュウアユ 県希 アユ科



生息地
奄美大島(役勝川、川内川、河内川など)

主な特徴
成魚は、150mmほど。背部はオリーブ色で腹部は銀白色、時には2個の黄色斑が胸びれの近くにある。

キバラヨシノボリ 県希 ハゼ科



生息地
奄美大島、加計呂麻島、徳之島、沖永良部島

主な特徴
成魚はの全長は雄で70mm、雌で60mmほど、クロヨシノボリによく似るが、斑紋が不規則で輪郭がぼやけている。

ヤエヤマヒルギシジミ 県希 シジミゴ科



生息地
奄美大島

主な特徴
成貝で殻長90mm、殻高75mm内外。殻は大型のシジミ形。殻皮は黄褐色～褐色で厚い。

ミヤビカンアオイ 県希 ウマノスズクサ科



生息地
奄美大島

主な特徴
小型の常緑草本。1～2枚の葉を根生し、葉は卵形。

タナゴモドキ 県希 カワアナゴ科



生息地
奄美大島

主な特徴
成魚は全長80mmほど。体側にはぼんやりした黒色帯と尾びれ基部に1黒色斑がある。

シマカノコ 県希 アマオブネガイ科



生息地
奄美大島

主な特徴
成貝で殻長20～30mm。殻表は平滑で光沢があり、細い黒白の縦線がある。

サキシマヌマエビ 県希 ヌマエビ科



生息地
中之島、喜界島、沖永良部島など

主な特徴
体長約20mm。生時には体が透明で、大小さまざまな灰色がかった青色の模様が見られる。

ハツシマカンアオイ 県希 ウマノスズクサ科



生息地
徳之島

主な特徴
常緑多年草。花柄が長い。

アマミアセビ 県希 ツツジ科



生息地
奄美大島

主な特徴
常緑の低木。葉が鈍頭花が大きいのが特徴

ウケユリ 県希 ユリ科



生息地
奄美大島(宇検、与路島、請島)

主な特徴
常緑の多年草。明るい林内や岩場に生育する。

アマミエビネ 県希 ラン科



生息地
奄美大島

主な特徴
常緑の地生ラン。花は白色か淡紅色

カンラン 県希 ラン科



生息地
下飯島、奄美大島、大口、屋久島など

主な特徴
常緑の地生ラン。花は1枚の萼片と二枚の花弁からなる。

アマミセイシカ 県希 ツツジ科



生息地
奄美大島

主な特徴
常緑の小高木。薄紙を帯びた白い花が咲く。

クスクスラン 県希 ラン科



生息地
奄美大島

主な特徴
常緑ラン。老木の樹上に着生する。

レンギョウエビネ 県希 ラン科



生息地
種子島、屋久島、中之島、奄美大島など

主な特徴
常緑の地生ラン。黄色の小さな花が下向きにたくさん咲く。

フウラン 県希 ラン科



生息地
種子島、黒島、瀬戸之瀬島、屋久島など

主な特徴
厚い。常緑の地生ラン。樹幹に着生。葉は10cm程度で

デンノウメ 県希 バラ科



生息地
小笠原島、奄美大島、喜界島など

主な特徴
常緑の低木。海岸の岩場に生育する。

シコウラン 県希 ラン科



生息地
奄美大島、徳之島

主な特徴
常緑ラン。岩上や樹上に着生する。

オナガエビネ 県希 ラン科



生息地
中之島、奄美大島、加計呂麻島、徳之島、沖永良部島など

主な特徴
常緑の地生ラン。花は距離が長い。

カクチョウラン 県希 ラン科



生息地
奄美大島、加計呂麻島、請島

主な特徴
常緑の地生ラン。日当たりのよい草原に咲く。

ナゴラン 県希 ラン科



生息地
高嶺山、佐多、中之島、平島、奄美大島、徳之島など

主な特徴
常緑の着生ラン。樹幹に着生する。

ケナガネズミ 国希・国天 ネズミ科



生息地
奄美大島、徳之島、沖繩島北部

主な特徴
頭胴長230～330mm、尾長270～360mm。日本産ネズミ類の中で最大。背面には長い剛毛が生えている。

ヤンバルホオヒゲコウモリ 国希 ヒナコウモリ科



生息地
奄美大島、徳之島、沖縄諸島

主な特徴
頭胴長104～147mm、尾長90～120mm。体重70～125g。体には長さ20mmほどの鋭い針状毛が密生している。平成18年に3種に分けられ、本属にはアマトゲネズミ及びトクシマトゲネズミが生息する。

アカヒゲ 国希・国天 ツグミ科



生息地
長島、喜界島、種子島、屋久島、奄美諸島など

主な特徴
全長約14cm。オスは喉から胸が黒色だがメスは無い。よく通る美声でさえずる。

イボイモリ 国希・県天 イモリ科



生息地
奄美諸島、沖縄諸島

主な特徴
成体の頭胴長は72～100mm。容体は狭しく隠れし、胴部の背面は凹みしている。

II.奄美群島に生息・生育する 国希動植物

トゲネズミ 国希・国天 ネズミ科



生息地
奄美大島(アマトゲネズミ)、徳之島(トクシマトゲネズミ)

主な特徴
頭胴長104～147mm、尾長90～120mm。体重70～125g。体には長さ20mmほどの鋭い針状毛が密生している。平成18年に3種に分けられ、本属にはアマトゲネズミ及びトクシマトゲネズミが生息する。

アマミヤシギ 国希 シギ科



生息地
奄美大島

主な特徴
日本産亜種に比べ大きく、羽色は黒みが強く全体的に暗色の木を幹を鳴でたたくドラミングと呼ばれる交尾音を鳴らす。

オオトラツグミ 国希・国天 ヒタキ科



生息地
奄美大島

主な特徴
全長約30cm。トラツグミの亜種でツグミ類では最も大きい。頭胴長は65～81mmほど。成体の虹彩が赤味を帯び、胴部に淡褐色の横帯が3本ある。

アマミシカワガエル 国希・県天 アカガエル科



生息地
奄美大島、加計呂麻島

主な特徴
大型のカエル。頭胴長は雄で88～106mm、雌で105～117mm。眼が相対的に大きい。

アマミノクロウサギ 国希・国特天 ウサギ科



生息地
奄美大島、徳之島

主な特徴
頭胴長418～510mm、尾長11～35mm。体重1,300～2,700g。目と耳が小さく手足が短い。爪は強大で穴掘りに適している。

リュウキュウテンゴウモリ 国希 ヒナコウモリ科



生息地
奄美大島、徳之島、沖縄諸島

主な特徴
頭胴長47～52mm前後、前腕長34～37mm前後、体重8g前後。体毛は淡褐色である。

オーストンオオアカゲラ 国希・国天 キツツキ科



生息地
徳之島

主な特徴
日本産亜種に比べ大きく、羽色は黒みが強く全体的に暗色の木を幹を鳴でたたくドラミングと呼ばれる交尾音を鳴らす。

オビトカゲモドキ 国希・県天 トカゲモドキ科



生息地
徳之島

主な特徴
頭胴長65～81mmほど。成体の虹彩が赤味を帯び、胴部に淡褐色の横帯が3本ある。

オットンガエル 国希・県天 アカガエル科



生息地
奄美大島、加計呂麻島

主な特徴
大型のカエル。頭胴長は雄で93～126mm、雌で111～140mm。非常に大型で頑丈な体格のカエル。

アマミデンダ 国希 オシダ科



生息地
奄美大島

主な特徴
常緑のシダ植物。渓流沿いの湿った岩上に生育する。

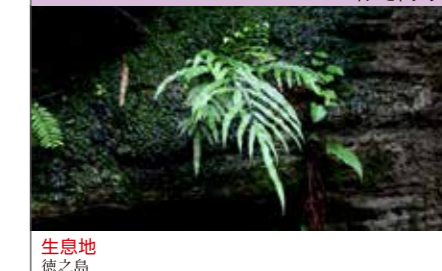
ウスイロホウビシダ 国希 チャセンシダ科



生息地
沖永良部島、那覇諸島

主な特徴
常緑性の多年草。陸地珊瑚礁上に生育する。

タイワンアマクサシダ 国希 イノモトソウ科



生息地
奄美大島、加計呂麻島、請島

主な特徴
大型のカエル。頭胴長は雄で93～126mm、雌で111～140mm。非常に大型で頑丈な体格のカエル。

III.奄美群島に生息・生育する 国・県指定天然記念物

ルリカケス 国天 カラス科



生息地
奄美大島、加計呂麻島、請島

主な特徴
全長約38mmで雌雄同色。成鳥は頬に白い斑があり、尾の先端の白色が目立つ。幼鳥は白く全体的に褐色が強い。

ヤドリコケモモ 国希 ツツジ科



生息地
奄美大島

主な特徴
常緑の着生ラン。風衝低木林の幹に着生する。

コモチナナバケシダ 国希 ナナハゲシダ科



生息地
徳之島、沖永良部島

主な特徴
常緑性の多年草。石灰岩地の林床に生育する。

フチトリゲンゴロウ 国希 ゲンゴロウ科



生息地
長島、奄美大島、喜界島、徳之島、沖永良部島

主な特徴
体長33～39mm。体型は卵型で厚い。日本のゲンゴロウ類の中では最大クラスである。

カラスバト 国天 ハト科



生息地
長島、奄美諸島、種子島、屋久島、奄美諸島など

主な特徴
全長40cmで雌雄同色。ほぼ全身金属光沢を帯びた黒色で、特に頭上は紫色光沢が強い。

アマミハナサキガエル 県天 アカガエル科



生息地
奄美大島、徳之島

主な特徴
大型のカエル。頭胴長は雄で93～126mm、雌で111～140mm。非常に大型で頑丈な体格のカエル。

コゴメキノエラン 国希 ラン科



生息地
奄美大島

主な特徴
常緑の着生ラン。風衝低木林の幹に着生する。

トクシマテンナンショウ 国希 サトイモ科



生息地
徳之島

主な特徴
地下に球茎を有する夏緑の多年草。

ウケジママルバネクワガタ 国希 クワガタムシ科



生息地
請島

主な特徴
アマミマルバネクワガタとほとんど差異はないが、六十mmを超える大型個体では発達した大顎を持つ。

オカヤドカリ 国天 オカヤドカリ科



生息地
奄美諸島、沖縄諸島、小笠原諸島など

主な特徴
陸上で生活するヤドカリで、日本では6種類ほど確認されている。成長にあわせ、体に適した宿貝次々に交換する。